

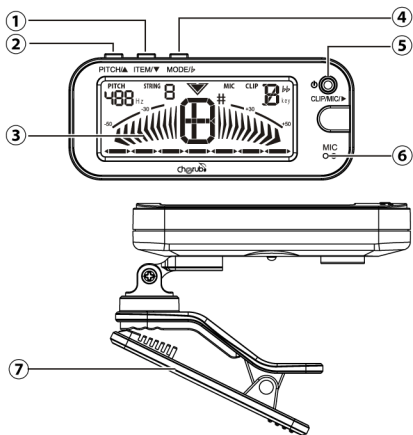


# WST-35 REVERSIBLE CLIP TUNER

## 取扱説明書

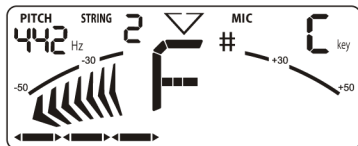
この度は本製品をお買い上げ頂きまして、まことにありがとうございます。  
正しい使用方法で末永くお使い頂く為に、本取扱説明書を必ずお読みください。

### 各部名称



- ① ITEM/▼ … チューニングタイプ切替ボタン
- ② PITCH/▲ … ピッチ設定ボタン
- ③ LCD … 液晶ディスプレイ
- ④ FLAT/MODE … フラット/モード選択ボタン
- ⑤ /CLIP/MIC … 電源/チューニングモード切替(クリップ・マイク)
- ⑥ MIC … マイク
- ⑦ CLIP … クリップ

### 操作方法



1. ⑤のボタンを約1秒間押し続けて、電源をONにして下さい。  
初期設定は「クロマチックモード」になっています。  
⑤のボタンを短く押すことで、MIC、CLIPどちらを使用してチューニングを行うかを決定します。  
内蔵マイクを使用する場合は「MIC」、クリップを使用する場合は「CLIP」を選択して下さい。
2. ②のボタンを押して、ピッチを調整します。  
ピッチ範囲(A=430~450Hz)
3. チューニングを行う楽器を選択します。  
C : クロマチック  
G : ギター  
B : ベース  
V : ヴァイオリン  
U : ウクレレ  
F key, B ♭ key, E ♭ key : 管楽器
4. フラットチューニング(半音、1音下げチューニング)を行う場合は、④のボタンにて選択します。  
ギター/ベースモードの場合 → なし(ノーマル)、♭(半音)、♭♭(1音)

5. クリップを使用してチューニングする場合は、音の振動が感知しやすい場所に取り付け、マイクを使用する場合は、周囲の雑音が無い環境にて、楽器本体に近づけて音を拾ってチューニングを合わせます。
6. チューニングしたいキーが液晶に表示された状態で、キーの上の▽マークの枠内が緑色になるように音を合わせて下さい。

#### 各モードの表記

クロマチック	C、C#、D、E♭、E、F、F#、G、G#、A、B♭、B
ギター	6E、5A、4D、3G、2B、1E
ベース	LB、4E、3A、2D、1G、HC
ヴァイオリン	4G、3D、2A、1E
ウクレレ	4G、3C、2E、1A

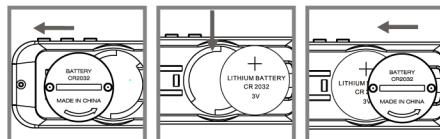
<ヒント>  
アルファベットの左の数字は、各弦を表しています。  
音階：C=D D=レ E=ミ F=ファ G=ソ A=ラ B=シ

### 仕様

チューニング: クロマチック、ギター、ベースギター、バイオリン、ウクレレ  
測定範囲: A0(27.50Hz)~C8(4186Hz)  
チューニングキー: C、F、B、♭、E、♭  
チューニングモード: クリップ/マイク  
反応速度: 20ms 以下  
測定精度: ±1セント以下  
キャリブレーション機能: 430~450Hz  
フラット: ノーマル、♭、♭♭  
電源: 3V(CR2032リチウム電池x1使用)  
外形寸法: 70(L)×38(H)×31(W)mm  
重量: 38g(本体のみ)

### 電池の取替え方

LEDライト、またはバックライトが暗くなったら、下図を参考に電池の交換を行って下さい。



- ステップ1 矢印と逆の方向に回して電池カバーを外します。
- ステップ2 電池を取り出し、新品の電池を入れます。
- ステップ3 カバーをはめて矢印の方向に回して、固定します。

### 付属品

- ・本取扱説明書
- ・動作チェック用 リチウム電池(CR2032) x1



### 安全上のご注意と注意事項

あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防ぐためにご使用前によくお読みになり製品を正しく安全にご使用ください。

- ・火災、感電、けが、故障の原因になりますので改造、修理、分解はしない。
- ・感電の原因になりますので水滴のついた手でスイッチ操作や水まわり、風呂場での使用はしない。
- ・破裂、発火、発熱の恐れがありますので電池を火の中に入れない。
- ・故障の原因となりますので電池は+-を正しく装着しましょう。
- ・電池は指定された(CR2032)を使用し、長時間使用しない時は外しましょう。漏液等で故障の原因になります。
- ・本体、スイッチ、液晶画面に無理な力を加えたり、落としたりしますと故障・けがの原因となります。
- ・次のような状況、場所での使用、保存は故障の原因となりますので避けてください。  
(直射日光のあたるところ、暖房機器の近く、発熱する機器の上など温度が極端に高い場所)  
(ほこり、ごみなどの多いところ)  
(風呂場、洗面所、濡れた床など水気、湿度の高いところ)
- ・チューニング時の注意  
(クリップマイクを使用する時は他の振動がない位置、チューニングしたい楽器のみの振動を感知しやすい位置に装着して下さい。チューニングがしにくい場合は位置を変更するなどして下さい。)
- (周囲の雑音や他の電子楽器からのハムノイズを拾い液晶画面がチューニング時の様な表示が出る場合がありますが故障ではありません。  
楽器の音を出せば正確にチューニング出来ます。)